

第6回

大阪府四條畷市未来技術地域実装協議会

日時:令和6年5月16日(木)午後1時

場所:グリーンホール田原 なるなるホール



令和5年度事業報告

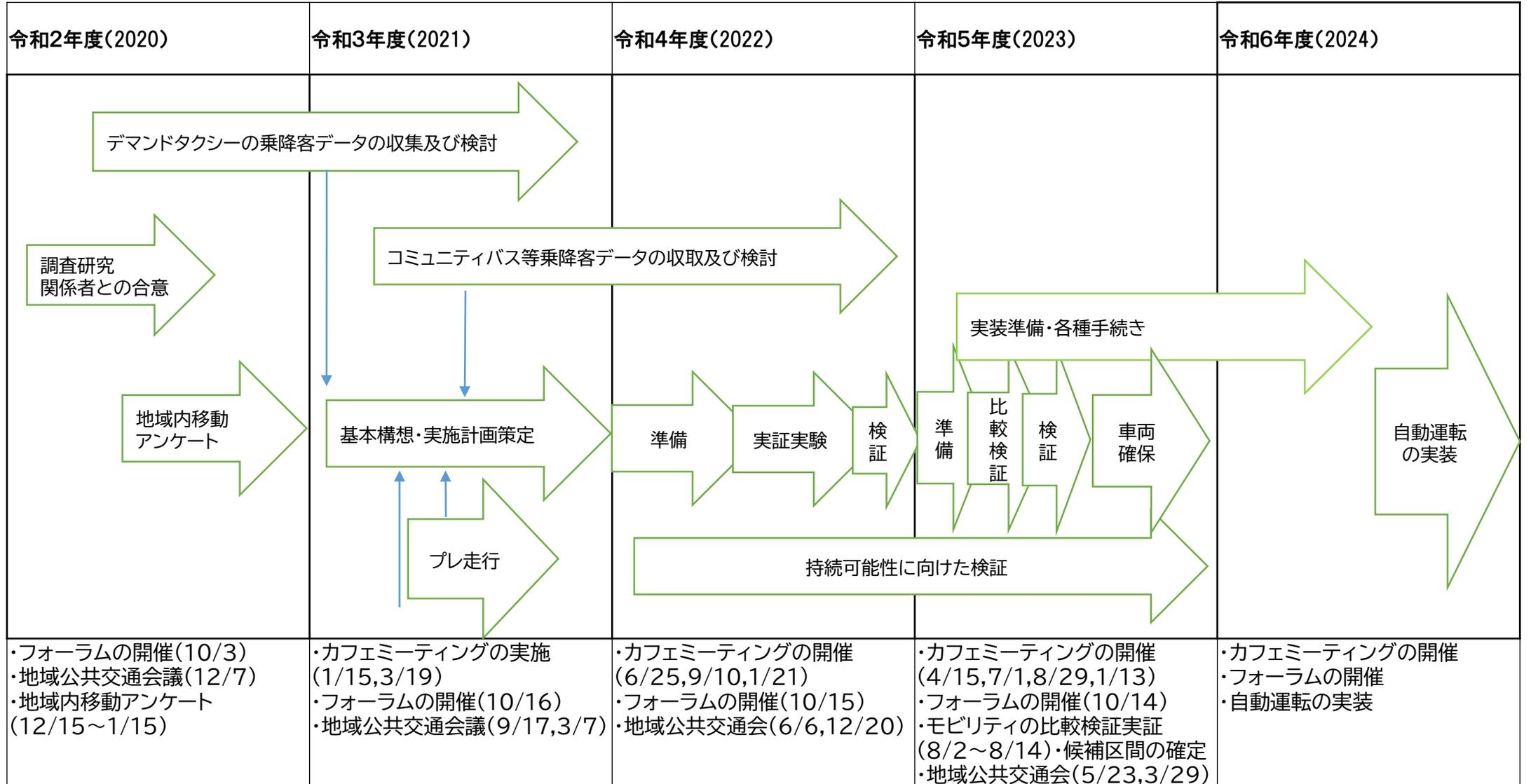
- 1 自動運転等の実装に向けた取り組み
 - (1) スケジュールと検討内容 P4~6
 - (2) 自動運転車両の車種選定 P7~10
 - (3) 地域主体の運行をめざして P11
- 2 未利用地等可能性調査
 - (1) スケジュールと対象地 P13~18
 - (2) 基本構想の策定に向けて P19
 - (3) ワークショップ状況 P20
 - (4) ワークショップ結果概要 P21
 - (5) 導いた方針 P22
- 3 継続した取り組み P24
- 4 KPI(重要業績評価指標)の計画・実績 P26~27



1 自動運転等の実装に向けた取り組み



スケジュール



地元意見に対する検討案

■自動運転車

- ・予約なしで巡回運行が望ましい → ①循環本数の見直し
- ・乗車人数を増やして欲しい → ②導入車両の検討

■低速電気自動車

- ・緑風台には車両が来ないので、恩恵を受けないので残念
→ ③緑風台ルート of 検討
- ・拠点に限らず、どこでも乗り降りできるようにして欲しい
→ ④降車場所の工夫

■その他

- ・暑さ・寒さ対策の検討 → ⑤導入車両の検討

地元意見に対する検討案

種別	課題	方針
自動運転車	①予約有無の検討	予約なし循環運行の検討
	②乗車人数	(次ページ以降参照)
低速電気自動車	③緑風台ルート of 検討	緑風台ルート運行実証
	④降車場所の工夫	関係機関と協議のうえ実施
その他	⑤暑さ・寒さ対策	(次ページ以降参照)

R4実証実験時の車両から、乗車定員を増やしたカートタイプに加え、ドアのあるミニバスタイプの2車種を対象に、車両性能の評価を行った。将来的なルート延伸も見据え、田原管内全体で走行検証を行った。

導入車両の候補案

	R4実験車両(カートタイプ)	R5実験車両(カートタイプ)	R5実験車両(ミニバスタイプ)
外観			
乗車定員	4人	7人	8人
ステップ高	約25cm	約25cm	約45cm
登坂能力	20度(36.40%)	20度(36.40%)	5度(8.75%)
雨風対策	エンクロージャー	エンクロージャー	ヒンジドア
冷暖房	—	—	外気導入型エアコン

車両性能評価

自動運転サービスの実装に向けた車両選定のため、車両の安全性、走行性、快適性に関する実証実験(車両走行実験、モニター調査)を実施し、車両の性能を評価



カートタイプ

ミニバスタイプ

■車両走行実験(8/2~8/3)

ミニバスタイプでは、走行支障箇所、登坂能力において、支障があることを確認

検証項目		検証結果	
		R5実験車両(カートタイプ)	R5実験車両(ミニバスタイプ)
安全性	走行支障箇所	支障なし ※R4年度に検証 ※緑風台地区の走行も可能	登坂部や狭小部における走行支障箇所を複数確認
	登坂能力	支障なし	乗車人数や連続運転時間等の複数の要因により登坂を登り切れずに停止する場合があります
走行性	航続距離	支障なし	支障なし
	車内の温度/湿度	ミニバスタイプの方が 1~5℃程度高い傾向 ※モニター調査時に実施	エアコンを使用しているも車内の暑さ問題が解消されない(40度前後)

▼走行支障箇所



▼モーター停止箇所



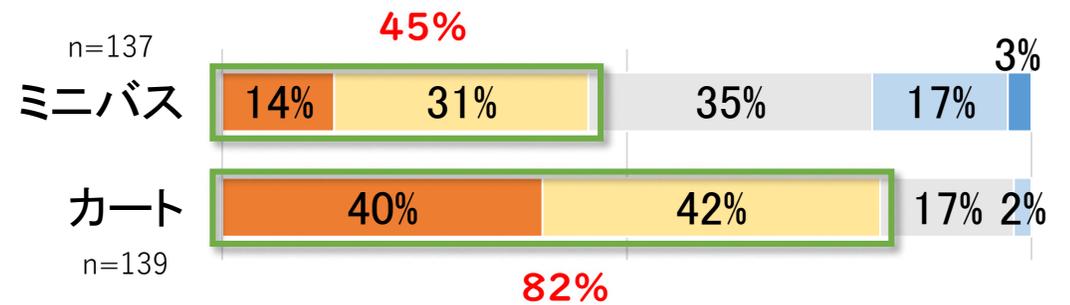
■モニター調査(8/4~8/14)

利用者、ドライバーに対して実施したアンケート調査では、いずれの項目もカートタイプが優位



検証項目		検証結果
ドライバー	<ul style="list-style-type: none"> ・運転のしやすさ ・車両の乗り降りのしやすさ ・安全確認の負担 	いずれの項目もカートタイプが優位 ※サイドミラーが小さく後方確認が、しにくい(カート)
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の乗り心地 ・車内の体感温度 ・車内の開放感 ・荷物置きの利用のしやすさ ・乗降時の負担 	いずれの項目もカートタイプが優位 ※シートベルトがないことが不安(カート)

▼総合的な満足度



■満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満
 ※「未回答・無効回答」は集計対象外※8/9までの集計結果

実験結果の報告と導入車両に関する意見交換

- ▶ 第8回カフェミーティング(8/29)にて、実験結果を報告し、実験車両(ミニバスタイプ・カートタイプ)の安全性、走行性、快適性について地域住民と意見交換を実施
- ▶ ミニバスタイプは、田原管内の走行においては運用上の課題が多く、また、地域主体の運用の実現に向け、車両の乗り心地やドライバーの負担面等を踏まえ、自動運転車として実装する車両を“カートタイプ”とすることで方向性を決定



カートタイプ

▼第8回カフェミーティングでの意見交換の様子



■2023年度乗車実績		
導入車両検証への乗車人数		
8/2~8/3	16人	
8/4~8/14	216人	計 232人

田原コネクタート(車両)の外観及びロゴの決定

- 地域との複数回の意見交換を交え、坂道の多い田原地域の安全性、走行性、快適性を兼ね備えたカートタイプの納車
- 地域に親しんでもらえるよう、名称及びロゴを決定「たわらコネクタート(略称TCC)」

企業版ふるさと納税

- 事業にご賛同頂いた企業ロゴを掲載



たわらコネクタート

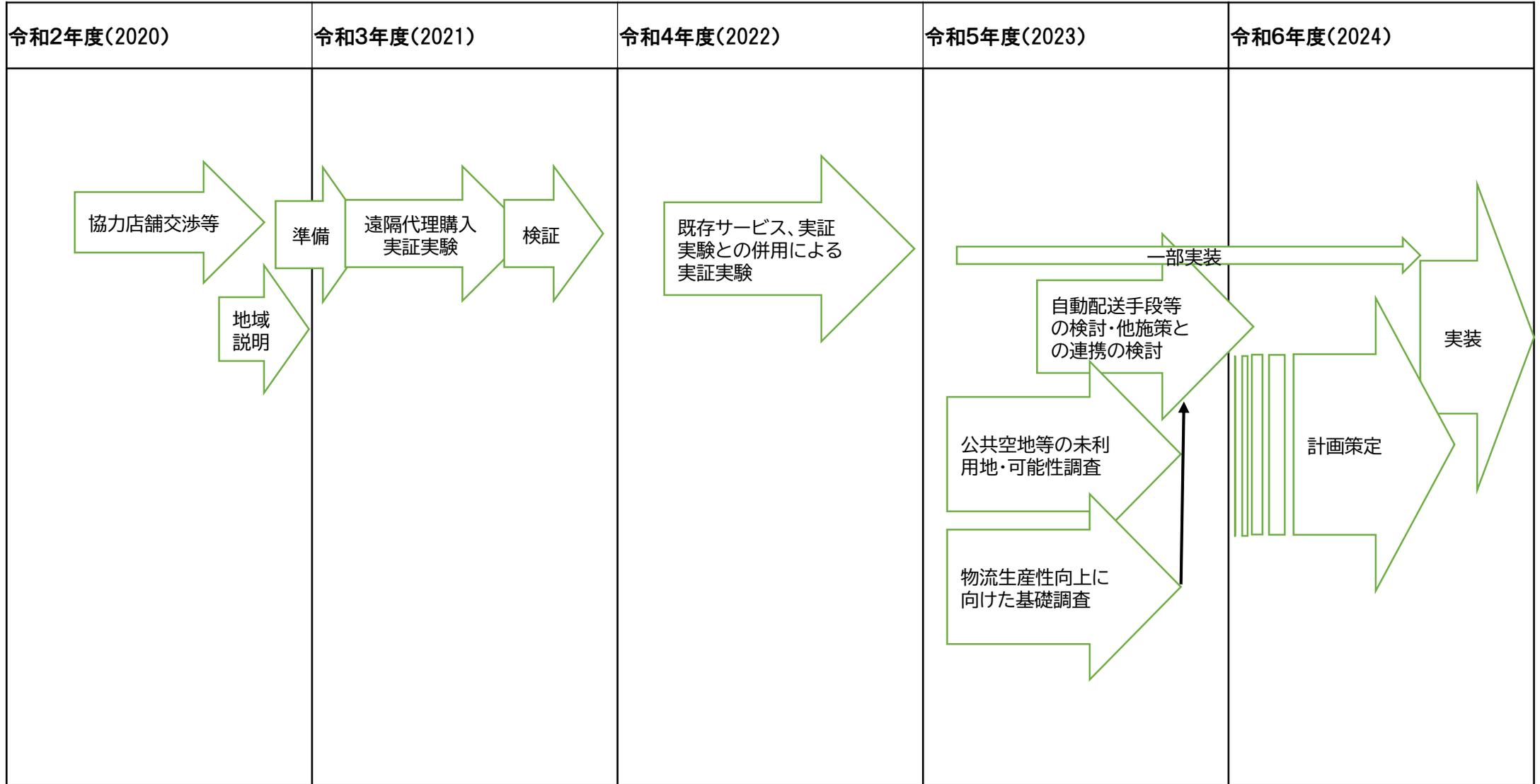
▼ボランティアスタッフの皆さん



2 未利用地等可能性調査



スケジュール



事業対象地の概要



対象地A (1/4)



項目	内容
対象地住所	田原台六丁目3番1
面積	約37,000㎡
現在の状況	用途地域:第二種住居地域 地域計画:文化学術研究地区A 現況:山林
所有者	大阪府四條畷市
地目	山林、宅地

対象地B (2/4)



項目	内容
対象地住所	田原台六丁目4番6
面積	約21,000㎡
現在の状況	用途地域: 第二種住居地域 地区計画: 遷送住宅地区A 現況: 32号緑地
所有者	大阪府四條畷市
地目	宅地

対象地C (3/4)



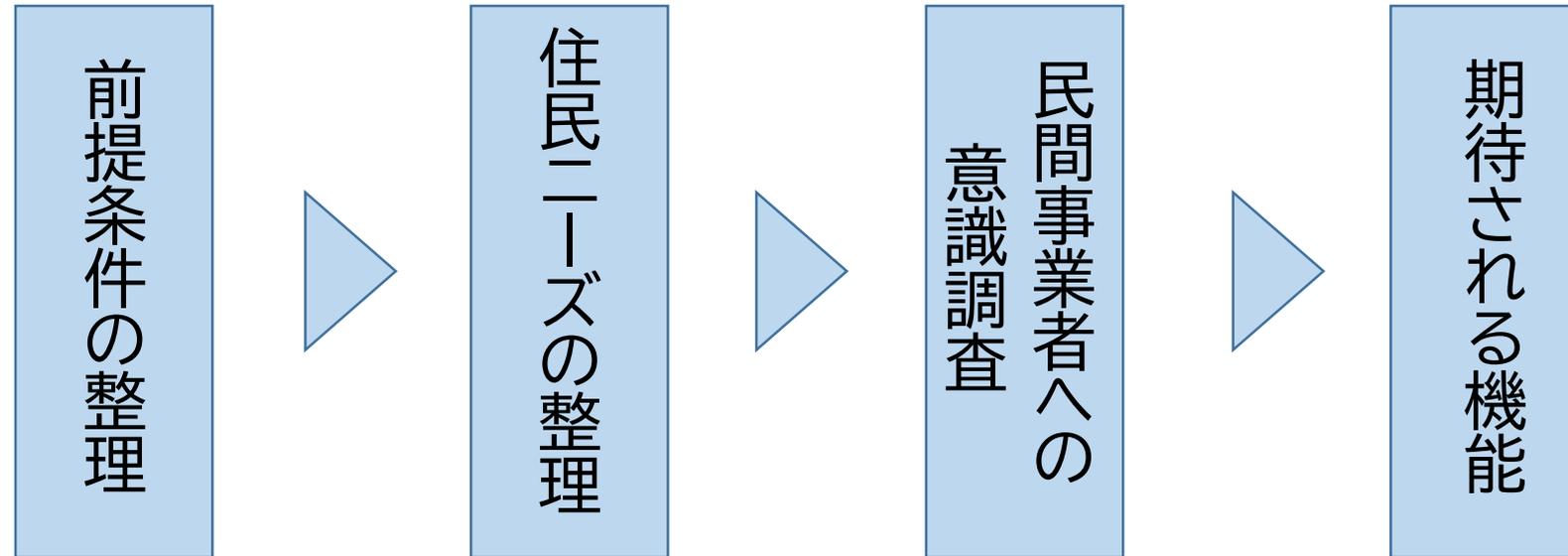
項目	内容
対象地住所	田原台五丁目1番2
面積	約3,900㎡
現在の状況	用途地域: 第一種住居地域 地区計画: 低層住宅地区 現況: 下水道事業用地
所有者	大阪府四條畷市
地目	宅地

対象地D (4/4)



項目	内容
対象地住所	田原台四丁目6番1、6番3
面積	12,572㎡ 既存土地:5,596㎡ 隣接土地:6,976㎡
現在の状況	用途地域:近隣商業地域 準防火地域 既存施設:ドラッグストア 美容室、歯科、飲食店 銀行ATM
土地所有者	独立行政法人都市再生機構 (UR都市機構)
建物所有者	株式会社アカカバ
地目	宅地

策定手順について



住民ワークショップの開催(中学生から高齢者まで参加)

テーマ

第1回(10月30日16時30分)
～田原地域における遊休地の使い方
を考えよう!～

テーマ

第2回(11月30日16時30分)
～田原地域の将来像について議論
しよう!～

テーマ

第3回(12月15日15時00分)
～これからの田原地域のまちづく
りをみんなで企画しよう!～

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

第1回
ニュースレター

第1回ワークショップ開催概要

「田原地域ってどんなところ？」
～田原地域における遊休地の使い方考えよう!～
をテーマにアイデアを出し合いました!



日時: 令和5年10月30日(月) 16:30～18:30
会場: グリーンホール田原 2階多目的ホール
参加者: 26名(中学生8名) 市職員: 3名 コンサル: 4名

住民と行政との協働により田原地域の未来を築き出すことを目的としたワークショップの第1回は10月30日に開催しました。公募により申込みいただいた地域住民のほか、出席中学校の生徒も参加いただき、「田原地域の課題」と「課題を踏まえた遊休地の使い方」について4班に分かれて意見を話し合いました。最後に各班でまとめた意見を発表し、参加者同士意見やアイデアを共有しました。



グループワーク①: 課題を考える グループワーク②: 使い方を考える 発表・アイデアの共有

第1回ワークショップの結果概要

参加者の皆様からは田原地域を取り巻く課題や、これらの課題を解決するためのアイデア提案を踏まえた遊休地の使い方も様々な視点から意見をいただきました。主な課題と使い方を以下の通りグループごとに分類しました。

田原地域の課題		遊休地の使い方	
まちの個性性が低い <ul style="list-style-type: none"> 敷地・建物のデザイン 敷地の色や素材が統一されていない 2階・3階建ての建物が多い 店舗・住宅の区別が不明 空き店舗が多い 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 	人との交流が少ない <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 	交通の利便性が悪い <ul style="list-style-type: none"> バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない 	道のり・公園の景観が悪い <ul style="list-style-type: none"> 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い
賑わいや個性を豊かにしたい <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 	子どもが遊ぶ場所が少ない <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 空き店舗の活用がされていない 	交通の利便性が悪い <ul style="list-style-type: none"> バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない バス路線が少なく、バス停が少ない 	道のり・公園の景観が悪い <ul style="list-style-type: none"> 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い 道のり・公園の景観が悪い

第2回ワークショップに向けて

第1回ワークショップで得られた意見やアイデアを踏まえながら、第2回では、今後の田原地域の将来像を話し合っていく予定です。引き続き皆様と議論させていただきながらワークショップを進めます。
【主催・問合せ】西條郡市 田原支所 (担当: 塩見、橋野、斎藤) TEL: 0743-78-0175 (代表)

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

第2回
ニュースレター

第2回ワークショップ開催概要

「田原地域は将来どんなまちになってほしい？」
～田原地域の将来像について議論しよう!～
をテーマにアイデアを出し合いました!



日時: 令和5年11月30日(木) 16:30～18:30
会場: グリーンホール田原 2階多目的ホール
参加者: 25名(中学生7名) 市職員: 3名 コンサル: 4名

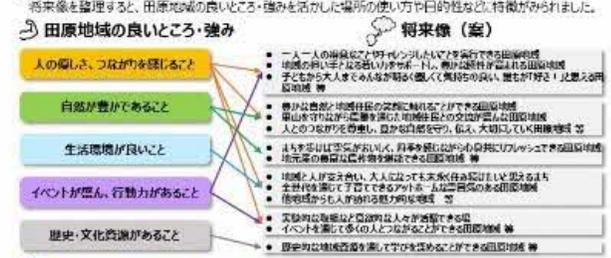
田原地域の未来を築き出すことを目的としたワークショップの第2回は、「田原地域の良いところ・強み」と「田原地域の良いところ・強みを踏まえた将来像」について4班に分かれて意見を話し合い、最後に各班ごとに今回も意見を発表し、みんなでアイデアを共有しました。



グループワーク①: 「田原地域の良いところ・強みを踏まえた将来像」を考える 発表・アイデアの共有

第2回ワークショップの結果概要

参加者の皆様からは、まず田原地域の良いところ・強みを考え、遊休地の使い方のアイデアを出し合い、これらを踏まえて、田原地域の将来像について、様々な視点から意見をいただきました。将来像を整理すると、田原地域の良いところ・強みを活かした場所の使い方の特徴がみられました。



第3回ワークショップに向けて

最終回となる第3回では、第2回ワークショップで考えた将来像を実現するために「今後すべきことは何か?」という視点で具体的な案を考えていきます。引き続き皆様と議論させていただきながらワークショップを進めます。
【主催・問合せ】西條郡市 田原支所 (担当: 塩見、斎藤) TEL: 0743-78-0175 (代表)

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

最終回
ニュースレター

第3回ワークショップ開催概要

「田原地域でどんなまちづくりができるかな?」
～これからの田原地域のまちづくりをみんなで企画しよう!～
をテーマにアイデアを出し合いました!



日時: 令和5年12月15日(金) 15時～17時
会場: グリーンホール田原 2階多目的ホール
参加者: 20名(中学生8名) 市職員: 2名 コンサル: 4名

田原地域の未来を築き出すことを目的としたワークショップの最終回は第3回は、第2回で考えた田原地域の将来像を実現するために「今後すべきことは何か?」という視点のもと具体的な案について、4班に分かれて意見を話し合い、最終回は班ごとに中学生が発表いただきました。



グループワーク①: 田原地域のまちづくりをみんなで企画しよう 発表・アイデアの共有

第3回ワークショップの結果概要

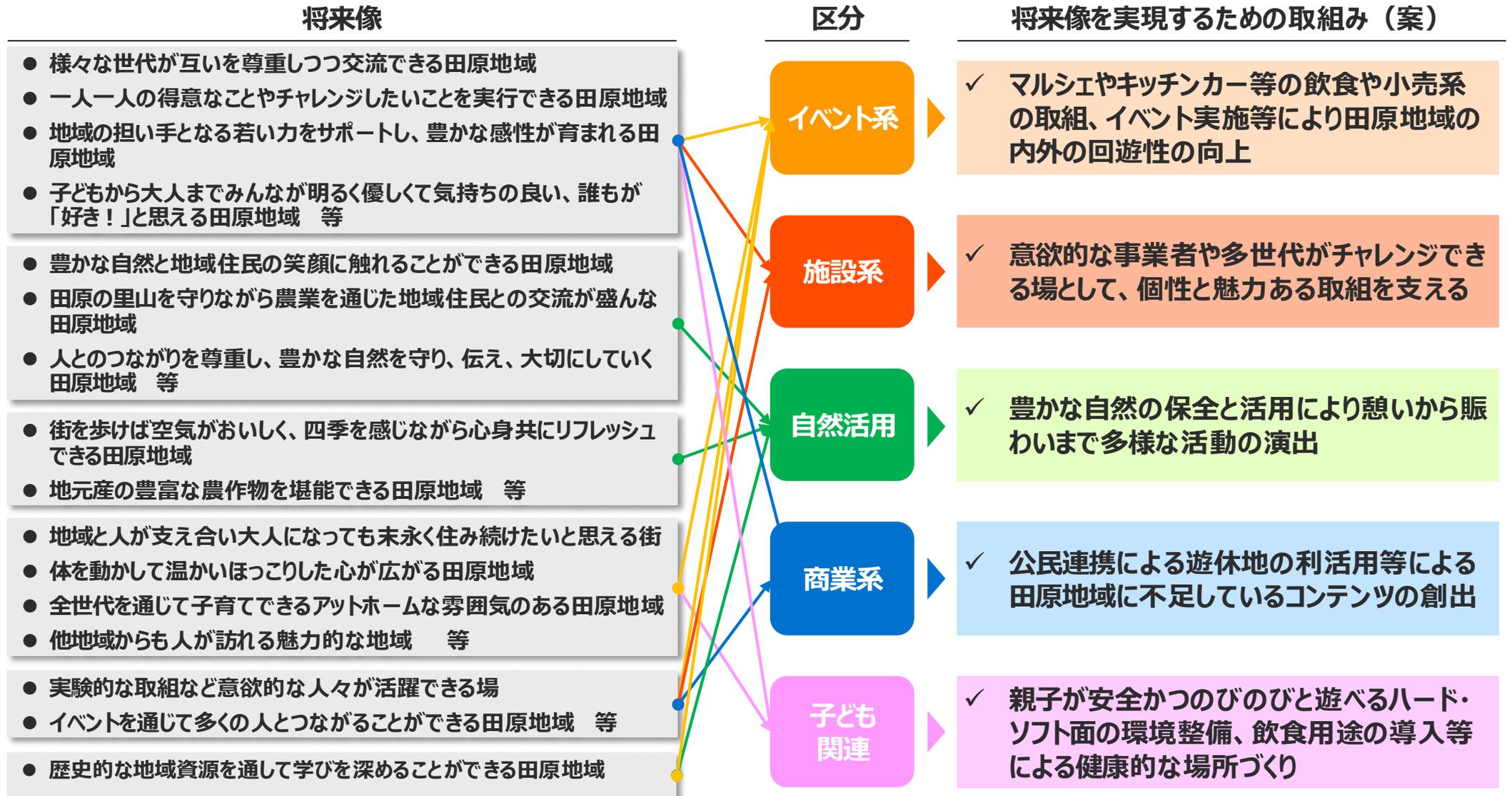
第2回ワークショップで考えた将来像とそれを実現するためのきっかけとなる取組について、次のとおり整理しました。

取組案	区分	取組案を実現するための取組(案)
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の得意分野や関心に応じて多様な活動が展開される 地域の人々が互いに支え合い、助けあえる 自然と人が共生し、人々が安心して暮らせる 多様な活動が展開される 歴史・文化資源を活かした活動が展開される 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり 生活環境 自然活用 防災 子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり: マスコミやSNS等での発信や小児科の取組、イベント実施等により田原地域の内外の認知度の向上 生活環境: 居心地の良いまちづくりや子育て支援などによる生活環境の向上 自然活用: 自然環境の保全と活用により環境にやさしいまちづくりの実現 防災: 防災訓練による防災意識の向上や防災用品の備蓄 子育て支援: 子育て支援による子育て世代の定住率向上

【主催・問合せ】西條郡市 田原支所 (担当: 塩見、斎藤) TEL: 0743-78-0175 (代表)



将来像と実現するための取組み(案)



対象地別の活用方針

対象地	コンセプト	導入が期待される機能	整備の負担	運営・維持管理費の負担
対象地A	自然交流拠点	自然を活かした遊び場 キャンプ場	市＋民間	市＋民間
対象地B		緑地・花壇	市	市＋ボランティア
対象地D	地域交流拠点	乳幼児用室内遊び場 学生の放課後学習スペース 地域住民交流のフリースペース	市	市＋民間

(※)対象地Cは、民間事業者の意向調査結果等を踏まえ、本活用方針から除くこととした。

3 継続した取り組み



都市OS スケジュール

令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)
フォーラムの開催 スマートシティガイドブック 分科会等への参画	コンソーシアム内におけるデータ 連携等の議論 他団体連携の模索	・都市OSの必要性の検討 コンソーシアム、地域コミュニ ティ、地域企業等によるSand boxの利活用議論の推進	・都市OSの他団運用状況確認 コンソーシアム、地域コミュニ ティ、地域企業等によるSand boxの利活用議論の推進 ・【総務省】 地域課題解決に向けてスマートシ ティの推進に関する意見交換	・都市OSの構築検討 ・コンソーシアム、地域コミュニ ティ、地域企業等によるSand boxの利活用の実証の促進

その他 地域の声を反映した施策

- 1 カフェミーティング
- 2 スマートシティ推進フォーラム
- 3 子ども体験教室(電気のしくみ・VR・看護師等体験)
- 4 スマートフォン使い方教室

4 KPI(重要業績評価指標)の計画・実績



上段 計画
下段 実績

KPI	R2年度 (2020) 事業開始前	R3年度 (2021) 1年目	R4年度 (2022) 2年目	R5年度 (2023) 3年目	R6年度 (2024) 4年目	R7年度 (2025) 5年目
新規事業者数及び事業敷地等拡大事業者数	-	0	1	1	1	2
	0	1	1	1		
田原地域の社会増減人口	-	0	0	0	0	0
	-	-62	53	-61		
田原管内が所管する記事アクセス数	-	8,182	8,682	9,182	9,782	10,382
	7,682	11,753	12,343	10,699		
新たな低速型自動運転車の利用人数	-	60	180	180	780	955
	0	158	252	232		

- 地方創生推進タイプに使用している各年度毎のKPI

上段 計画
下段 実績

KPI	R4年度 (2022) 1年目	R5年度 (2023) 2年目	R6年度 (2024) 3年目
行政窓口のキャッシュレス決済ができる窓口(箇所)	3	3	5
	3	3	
アンケート調査による導入後の利用者満足度(%)	50	60	65
	90.1	87.5	
証明書等の発行枚数におけるキャッシュレス化率(%)	5	10	15
	9.4	10.1	

- デジタル実装タイプ(TYPE1)に使用している各年度毎のKPI